

Psoriasis News

発行 大阪乾癬患者友の会(梯の会)
編集 友の会編集委員

特集

第23回総会・学習懇談会



・・・ Index ・・・

・第23回学習懇談会 P1	・第2回女子会 P10
・医療講演① P2	・住吉神社散策 P10
・医療講演② P6	・お知らせなど P12



初めての4患者団体合同PR活動

ブースを設けて頂くことが出来、全国の患者会のPR活動を行いました。今回は今までと違って、乾癬患者連合会の他、表皮水疱症の会の患者四団体が共同でブースを構えました。多くの難治性皮膚病がある中、こうしていくつかの団体が共同歩調を取れたことは今回の大きな収穫だと思われま

さて学習懇談会の方は十二時三十分より住友病院十四階講堂で行われました。今回は学会に参加していた多くの医者や医療関係者にも出席して頂き、今までの学習会の中でも最も多い百五十名以上の参加がありました。岡田会長挨拶の後、日本乾癬患者連合会会長の佐々木氏より「絆が生み出す力」という題で自身の患者体験談と署名などの連合会活動の意義について話がありました。

第23回学習会開催

150名を超える参加者

住友病院で医療講演会

医療講演は住友病院皮膚科部長の庄田裕紀子先生が「患者さんの話すことばとお医者さんの話すことば」一緒に乾癬を治療するため、通じ合う言葉で会話しませんか？」というテーマでお話しして頂き、また自身も乾癬患者であられる大分県立病院皮膚科部長の佐藤俊宏先生が「乾癬患者を生きる」一人の患者として皮膚科医として「」というテーマで医者・患者両方の視点からお話しをして頂き、また東京逓信病院皮膚科部長の江藤隆史先生からは「乾癬治療のABC」患者会との十年の歩みを振り返って」という題目で一般的な治療方から最新の治療方までを総合的に講演して頂きました。それぞれ角度から大変参考になる話が多かったと思います。

質疑応答の後、参加者交流会があり、いつものように医療相談コーナーも設けられました。

また夕方からは京橋の「パノラマスカイレストランアサヒ」で懇親会が行われ約三十名が参加しました。佐藤先生や水疱症患者会の方も参加され、また全国の絆が深まったと思います。このように大変充実した学習会となりました。